



専門部局で連携を図り事業を推進

海田町公衆衛生推進協議会は、大きく4つの専門部局に分かれて活動しています。

一つ目が、組織の運営を担う「総務部会」。広報「公衛協だより」の発行や環境と健康のポスター標語コンクールの実施などに携わっています。

二つ目は、保健衛生にまつわる取り組みを行う「保健部会」。食生活改善料理教室の実施や、初めてのヨガ教室、ふれあい健康ウォーキングの開催などを手掛けています。

さらに空き缶等散乱ゴミ追放キャンペーンや水辺教室、小学生向けに行う環境出前講座の実施、衛生害虫駆除運動を担当する「環境部会」、献血事業を推進する「献血部会」があり、所属する委員が力を合わせそれぞれの取り組みを進めています。

ポスター標語コンクールでは、小学校高学年の部の選定に関わらせてもらい、皆さんの素晴らしい作品に感激しました。また、水辺教室や出前講座を通じて、若い世代の人たちと環境について一緒に考えていけるのは、大変意義のあることだと感じています。

さまざまな活動の中で、少しでも皆さんが健康や環境に意識を向けてくれればと、小さな工夫を重ねています。例えば公衛協だよりの制作は、以前よりも写真を多く使うようにして、目を通しやすいような紙面にリニューアルしました。広く告知しているヨガ教室は非常に好評で、

定員15～20名がすぐにいっぱいになるほど。皆さんからいただく喜びの声、活動が続ける力になっています。

気持ちのよいまちづくりを皆の力で

昭和の発足時から、平成、令和と時代は移り変わってきましたが、「皆で、皆の生命や生活を守ること」という公衆衛生の理念は変わらず受け継がれています。町民一人一人にとって必要不可欠なこの活動を、継続・達成していくために、皆さんの協力が必要です。まずは家庭ごみの分別や出し方のルールなど、今一度それぞれに徹底してもらいたいと思います。資源物の仕分けがきちんと行われているかや、不法投棄のチェック、自治会での当番班やステーションの掃除当番の作成などに各委員が関わっていますので、何かお困りのことがあれば気軽に相談してください。可燃ごみステーションは町内に約700カ所、資源物回収ステーションは約180カ所あります。正しい出し方を守り気持ちのよいまちづくりと一緒に実践してほしいです。

これからチャレンジしたいことは、「公衆衛生推進協議会における防災・減災活動」「カーボンニュートラル」「海洋プラスチック問題」「食品ロス問題」です。これら4つは、今行っている活動の延長線上にあるもの。現在取り組んでいることを一つ一つ着実に達成していけば、これらの課題解決もおのずと実現できると思っています。



▲水辺教室のようす



古き良きものを受け継いで 美しい海田町を残したい

結

婚を機に海田町で暮らすようになり、50年以上の時間が経ちました。振り返ればいろいろなことがあったなと、懐かしく思い出します。結婚当初住んでいた畝一丁目の地域の方に誘っていただき、「畝ソフトクラブ同好会」(※1981年に「畝倶楽部」へと名称変更)に入り、畝自治会活動などに積極的に参加するようになりました。最も心に残っているのは、秋祭りにお目見えする「頂載(ちょうさい)」です。約1トンもの頂載に4人の子どもが乗り、20人以上の担ぎ手が力を合わせて西国街道を練り歩くのは大変な手間でしたが、賑やかな太鼓の祭囃子が相まって何とも風情のある光景でした。現在は実施されていない行事ですが、今も春日神社境内の倉庫で保存会の皆さんが頂載を管理してくれていますので、いつか復活したらいいなと願っています。「伝統ある古き良きものを大切に受け継いでいきたい」という思いは、文化もまちも同じです。西国街道の歴史情緒漂う海田町が、いつまでも美しくあり続けるために、私たちはこれからも公衆衛生推進協議会の活動に一層の力を入れていく所存です。まちの皆さんにも、ぜひ活動へのご協力をお願いできればと思います。

my Favorite 海田のお気に入り

ヒマワリ咲き誇る海田総合公園

「かいたのヒマワリ屋さん」の活動でヒマワリの普及も行っています。海田総合公園の花壇は、町内で最も多くのヒマワリが見られる場所。大型遊具や自然豊かな広場を備えており、親子連れも楽しく遊べます。ヒマワリ彩る町民憩いの場であり、自慢の公園です。



今をときめく まちのあの人に 会いに行く

企画課(役場3階)

TEL 823-9212

Mail kikaku@town.kaita.lg.jp